

木屋地区未来設計図

(第2次地域振興計画書)

ささえあい みんなできずこう

『かがやく^{さと}郷 木屋』



令和 6 年 3 月

木屋地区自治運営協議会



スマホで写真見られます

【表紙写真の説明】

花渡行政区

- 【花渡地区からみる夕焼け】
○西向きにある地区で、天気がいいと毎日夕日や夕焼けを見ることが出来ます。

南木屋行政区

- 【旧木屋小学校】
○現在建物内は水耕栽培の施設、運動場は地域のみなさんのふれあいの場として活用されています。

原行政区

- 【旧須崎橋】
○住んでる所が"はる"なんて何だかほっこり。写真は10年前にかけ替えられるまで国道442号として人々の暮らしを支え続けた旧須崎橋

神露淵行政区

- 【姫御女さん】
○南北朝時代、良成親王のお后姫御前は難産で亡くなったが、以来神露淵で安産の神様として祀っている社

山中行政区

- 【山中溪谷】
○紅葉を前に区民全員で年2回の下草刈りとシニアクラブで3回程の清掃作業を行います。

四条野行政区

【四条野天満神社】

- 四条野天満神社(天満宮)です。御神体は、菅原道真です。



【地域振興計画作成木屋地区ロゴマーク】

北木屋行政区

- 【下木屋提灯祭り】
○毎年10月第1日曜日に願い事を書いた短冊を提灯に下げ、木造聖観音にお参りする行事

岳弓掛行政区

- 【彼岸花と雲海】
○雨上がりに映える彼岸花と雲海。大分・熊本の山並を一望する眺めは絶景の極めで区の自慢

荒谷行政区

- 【西念忌法要】
○毎年荒谷山専勝寺跡(荒谷のカエデ)で行われ、御経をあげてもらいお参りします。

東木屋行政区

- 【平橋】
○左が「だひらばし」、右が「だいらばし」。二つで大正～令和の100年を支えました。

目 次

まえがき	1
第1章 木屋地区の現況	2
1 木屋地区の現状	2
2 各種団体活動の現状	4
3 木屋地区に関する文化財・史跡等	5
第2章 地域の課題	6
1 課題等の洗い出し	6
第3章 わがまちの将来像 ～スローガン～	7
1 課題等への対応	7
第4章 まちづくりの活動計画(取組)	
○「福祉部会」の活動内容(取組)	8
○「生活部会」の活動内容(取組)	8
○「交流部会」の活動内容(取組)	9
○「広報部会」の活動内容(取組)	9
○「災害対策部会」の活動内容(取組)	9
○主に自治運営協議会全体で行う活動	10
○主に各行政区が中心となって行う活動	10
○主に市行政と一緒にを行う活動	11
第5章 まちづくりの推進・・・計画実現に向けて	12
添付資料	
1 木屋地区振興計画書策定経過	13
2 アンケート調査集計結果概要	13
○10年前との比較	14
○木屋地区を元気にするアイデア	16
3 木屋地区振興計画書策定委員名簿	20

まえがき

平成22年2月に八女市に編入合併し、その後も少子高齢化、人口減少の波は予想をはるかに上回るスピードで押し寄せています。木屋地区に3校あった小学校も全て廃校となり黒木小学校へ統合しました。厳しさを増す地域情勢ですが、今こそ木屋地区住民が一体となり未来へ向けての展望を示す時だと考えます。

近年では、住民との協働という考え方がクローズアップされ自治基本条例を制定し、住民と行政の協働による地域づくりが進められる事例が多くなっています。

この度、木屋地区地域振興計画を10年ぶりに改訂することとなりました。計画書を策定するにあたり、各行政区より2名ずつ策定委員を選定して頂き、協議を重ねて参りました。

各戸に協力頂いたアンケート調査の結果を基に、地域の課題や地域の資源の洗い出し、あるいは課題の解決方法、地域活性化等を議論し、幅広いテーマでの地域振興計画書を作成することができました。

今後は、本計画書を基に「安心」「安全」そして、「ふれあい、ささえあいの木屋地区」にできるよう、木屋地区自治運営協議会として住民主体の地域づくりを目指していきます。

木屋地区自治運営協議会



【『第21回木屋じゅうばこ祭り』の様子〔令和5年11月19日(日)〕】

第1章 木屋地区の現況

1 木屋地区の現状

木屋地区は、八女市黒木町の南部に位置し、熊本県山鹿市に接しており、令和5年7月末現在、世帯数756世帯、人口1,686人、面積29.20㎢です。木屋地区の中心を東西に国道442号が走り、国道に沿って一級河川の矢部川が流れ、木屋地域と北木屋地域の10行政区により形成されています。

木屋地区は、市町村制の施行により、明治22年に木屋村として誕生してから今日にいたっています。

木屋地区の活性化においては、昭和29年町村合併により設立された木屋財産区が、基幹産業である農林業の基盤整備は勿論のこと、生活の基盤である道路整備、環境衛生の整備等に助成するとともに、地域住民のまとまりの中心となって生活全般に大きく寄与してきました。

また、昭和51年に大規模年金保養基地の指定を受け、昭和61年にオープンした「グリーンピア八女」は、地区内唯一の観光施設で地区民の誇りであり、この施設を活用して平成11年から木屋じゅうばこ祭りを開催してきました。

基幹産業は農業で、特に昭和40年代前半までは稲作が盛んで、品評会では高い評価を受けました。その後、生産調整が始まると果樹や施設園芸に転換されましたが、後継者不足と高齢化による労働力低下により、農地の荒廃が深刻な問題となっています。

生活環境では、簡易水道が神露淵（S34年）、山中（S34年）、木屋地区（S51年）、四条野（S56年）、荒谷（H20年）に敷設され、簡易水道に準ずる施設も各集落に整備されました。また、生活排水処理については、農業集落排水事業により、神露淵（H9年）、弓掛（H17年）に竣工し、他の集落は、合併浄化槽の設置を推進しています。

人口は、他地域と同様年々少子高齢化が進み、次項にもあるように減少状況が続いています。人口減少に伴い、鶯西小学校が木屋小学校と統合（H15年）、渡内小学校が黒木小学校と統合（H20年）、木屋小学校が黒木小学校と統合（H26年）し、木屋地区内に小学校がなくなり、神露淵保育所も閉鎖（H21年）されました。また、木屋地区内唯一の診療施設であった国民健康保険直営木屋診療所も閉所（H26年）になりました。

人口減少による地域の各施設の閉所等があいつぐ中ではありますが、木屋小学校跡においては、「未来を見据えた、新しい農業のカタチを提案」する閉鎖型植物工場が運営されています。また、神露淵保育所跡は、外国人材育成施設として利用されています。

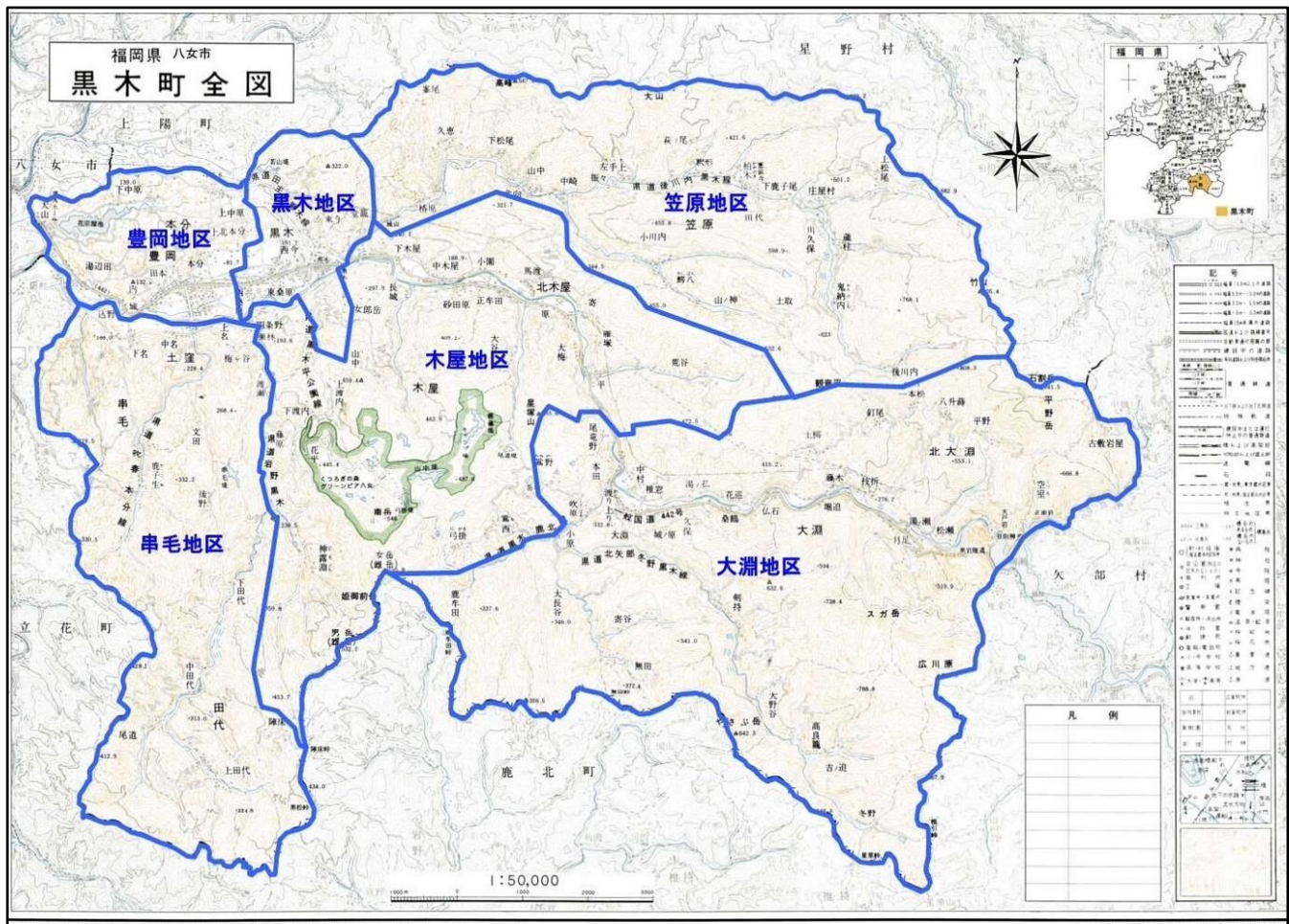
【木屋地区の世帯数・人口の推移】

	南木屋		原		山中		北木屋		東木屋		荒谷	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
H15	105	438	59	236	37	153	180	736	48	204	46	212
H26	151	346	59	185	36	127	244	661	47	170	43	184
R05	118	236	52	135	35	85	224	481	47	115	44	121

	岳弓掛		四条野		神露淵		花渡		全体	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
H15	47	221	45	140	81	356	66	226	684	2,922
H26	54	164	40	127	82	279	57	144	813	2,387
R05	51	118	41	99	104	210	40	86	756	1,686

※ 南木屋には、桜の里の世帯を含む。(H26年度・R4年度版)

※ 北木屋の世帯数には、城山学園とケアホームしろやまの世帯を含む。(H26年度・R4年度版)



2 各種団体活動の現状

団体の名称	主な活動内容	組織上の問題点
女性部	・女性部研修 ・アルミ缶回収 ・資源回収	・行政区密着型の活動充実 ・女性部員の減少 ※R 6 年度より各行政区ごとでの活動を中心に行う予定
シニアクラブ (老人会)	・各シニアクラブごとの研修 ・木屋シニアクラブ会長会研修 ・地域奉仕活動 ・グラウンドゴルフ	・行事参加者の片寄り ・働き手の中心である高齢者が増え、加入者の減少
青少年育成会	・通学合宿 ・木屋じゅうばこ祭りグラウンドゴルフ大会参加 ・木屋地区青少年健全育成について話し合う集い	・少子化により対象者の減少 ・育成会活動の理解不足
消防団	・夜警及び火災予防の啓発活動 ・災害時の緊急支援活動 ・火災時の消火活動	・少子高齢化に伴う若い団員の確保 ・仕事と消防団活動との両立
民生・児童委員会	・一人暮らし高齢者の訪問、見守り ・高齢者の家庭訪問、見守り活動 ・生活困難者の支援について関係機関との協議 ・児童生徒の見守り活動 ・ふれあいサロンの開催	・担当地域の広範化 ・一人暮らし高齢者、高齢者だけの家庭などの増加 ・生活困難者の増加 ・児童生徒の減少
交通安全協議会	・主要交差点街頭指導 ・中学生自転車通学指導 ・地区イベントへの参加	・イベント参加者の減少 ・交通法規遵守の乱れ
財産区	・財産区有林の管理	・活動状況等の周知

3 木屋地区に関する文化財・史跡等

県指定文化財	名称	所在地
有形(彫刻)	木造聖観音立像	北木屋（下木屋）
史跡	猫尾城跡	北木屋（城山）
天然	荒谷のカエデ	北木屋（荒谷）

市指定文化財	名 称	所在地
有形(建造物)	明治の館	グリーンピア八女内
有形(彫刻)	木造十一面観音菩薩坐像	北木屋（馬渡）
有形(書跡)	紙本墨書木屋文書	南木屋（「学びの館」所蔵）
民俗(有形)	木屋行實の墓	南木屋
民俗(有形)	伝・安倍晴明塔	北木屋（中木屋）
民俗(有形)	南城の古塔群	四条野
民俗(有形)	里程表示石柱(九里石)	原
民俗(有形)	唐谷円周庵の板碑	北木屋（中木屋）
民俗(有形)	古須崎橋	原
民俗(有形)	熊野宮参道橋	北木屋（下木屋）
民俗(有形)	大梅のヤマツバキ	東木屋（大梅）
民俗(有形)	山中溪谷の重箱岩	山中

おすすめ名所等

名所（名称）	所在地	備 考
姫御前	木屋（神露淵）	良成親王のお后姫御前を祀っている社
嶽天満神社	木屋（岳）	良成親王が 1381 年に滞在されたとされる場所

第2章 地域の課題

1 課題等の洗い出し

木屋地区の地域課題等の把握については、第1次振興計画作成時と同様の項目を設定して住民アンケートを実施し、その結果に基づき洗い出しを行いました。アンケート結果については、添付資料（P14～P20）をつけておりますのでご参照ください。

第1次、第2次振興計画ともに、以下の3点についての課題等が明確になりました。

【Ⅰ】生活環境の向上など、地域ぐるみで育て、安全・安心なまちづくり

【Ⅱ】福祉や文化の充実など、助けあい、ささえあい、こころやすらぐまちづくり

【Ⅲ】産業・経済及び住民の交流の促進など、いきいきと活気あふれるまちづくり



【大梅のツバキ（東木屋）】



【明治の館（グリーンピア八女）】

第3章 わがまちの将来像 ～スローガン～

【木屋の将来像】

ささえあい みんなできずこう
『 かがやく^{さと}郷 木屋 』

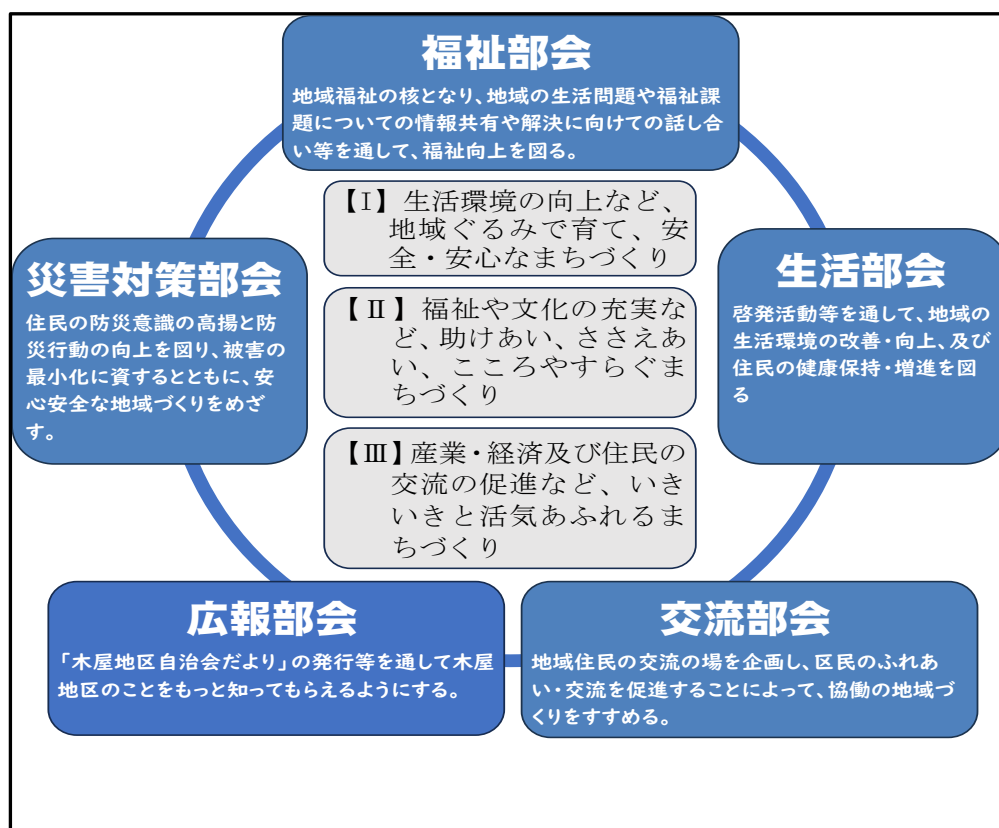
豊かな自然と人々のやさしさは、木屋の大切な資源であり、宝であります。

私たちは、自然の恵みを大切にすると共に、お互いを尊重し、思いやり、支えあうことで、みんながかがやき、幸せに暮らせるまちづくりをめざしています。

木屋に生まれ育った人たちが誇れるまちとなるように、みんなの心をひとつにして、木屋の将来を描いていきます。

1 課題等への対応

明確になった課題等（P 6）については、自治運営協議会の組織として5部会を立ち上げ、それぞれの部で対応してきましたが、今後もその組織を最大限生かして対応していきたいと考えています。



第4章 まちづくりの活動計画(取組)

まちづくりの指標となる将来像（P 7）実現のため、各部会の具体的な取組を表にまとめました。

これに基づき今後活動していきますが、より具体的な取組は年度ごとに策定する活動方針に盛り込まれます。

《表の見方について》

- ※ 明らかになった課題等について、特に、中心的役割を担う部会等ごとに、活動内容（取組）を表しています。しかし、そこだけが取り組むという意味ではなく、「住民」「各行政区」「市行政」が「連携」「共同・協働」して取り組むことを基本として作成しております。
- ※ ○数字は、活動項目を表し、「・」は今回のアンケートでご提案いただいた具体的内容を記載しております。詳細は、【 】のページをご覧ください。



福祉部会が中心となって行う具体的な活動内容(取組)
① 独居老人、障がい者への支援
・ 車での移動販売促進【P18⇒53】
② 在宅高齢者宅への訪問、見守り
③ ふれあいサロンの充実
・ 健康増進の為に、体操や脳トレ活動等のサロン実施【P16⇒12】



生活部会が中心となって行う具体的な活動内容(取組)
① 特定健診の推進と健康対策
② ゴミ・空き缶などの回収
③ 生活に役立つ取組（地域人材を活用してこんにゃくや柚子胡椒づくり等を教えていただく場づくり など）【P16⇒9・10・11・12・13】



交流部会が中心となって行う具体的な活動内容(取組)	
① 名所旧跡・文化財の PR	
・ 史跡や文化財巡り(バスハイク)【P17⇒20(1)】	
② 子どもや若い世代が参加したくなるような行事やイベントの企画	
・ 交流する場所の充実【P16⇒5】	
・ マルシェの開催【P16⇒10】	
・ 石垣キャンパス【P16⇒14】	
・ ストリートアート【P17⇒15】	
・ 皆んなで出来る活動を増やす【P17⇒16】	
・ 木屋のシンボルツリー制定【P17⇒18】	
・ 地域関係ないグループでのグラウンドゴルフ大会【P17⇒22(1)】	
・ マルシェを併設したじゅうばこ祭りの開催【P17⇒22(2)】	
・ 地域の方からのアイデアを生かした催し物の企画運営【P17⇒22(3)】	



広報部会が中心となって行う具体的な活動内容(取組)	
① 地域情報発信	
・ SNS で木屋地区のみならず多岐に渡る繋がりづくり。【P18⇒39】	
・ ホームページ上での木屋地区のいいところ自慢。【P18⇒40】	
・ 他地域の方による「木屋の良さ」発掘。【P18⇒41】	



災害対策部会が中心となって行う具体的な活動内容(取組)	
① 危険箇所の把握・安全対策	
② 避難場所の整備	
③ 防犯、防災体制の整備	
④ 防災計画作成・活用	

主に自治運営協議会全体で行う活動

具体的活動内容(取組)
① 子どもと高齢者の交流
② 地域ぐるみの青少年育成
・子どもと一緒に遊べる公園等の充実【 P17⇒28・ P18⇒34・ P18⇒50(3)】
③ 豊かな自然、美しい山、きれいな川を守る
・花いっぱい運動で地域を花いっぱいにしたい。【 P16⇒7】
・自然や伝統などをもう少し丁寧に整える。【 P17⇒33】
④ ガイドマップの作成

主に各行政区が中心となって行う活動

具体的活動内容(取組)
① 隣近所の声かけ、挨拶運動の実施
・何気ない声かけの推進【P16⇒4】
② 道路整備、歩道設置、標識整備
③ 防犯灯・街路灯の設置
・街灯の設置【P18⇒49】
④ 交通指導
⑤ 道路案内板の設置
⑥ 豊かな自然、美しい山、きれいな川を守る
⑦ 歴史・文化の文書化、保存、伝統行事の継承
・お宮などの行事の継承。【P16⇒8】
・時代にそぐわない伝統行事の簡素化。【P18⇒50(2)】
⑧ 名所旧跡、文化財などの保存、管理、清掃
⑨ リーダーの育成
・多種多様な職場の充実【P19⇒54・55・56・57】
・木屋地区のみの作物や加工品を作り、全地区で栽培して販売体系をつくる。 【P18⇒42】
・若者、外国人の方を呼び込む魅力づくり【P19⇒58・59・60・61・67】
⑩ 結婚相手の仲介
⑪ 農業後継者不足対策

・集落法人、共同による農作業や農業機械の共有化。【P17⇒21(1)】
⑫ 荒廃林の整備
⑬ 耕作放棄地の対策
・耕作放棄地を家庭菜園に。【P17⇒19】 ・田畑を耕作できない分、レンゲ畑にして蜂蜜を採集。【P17⇒20(2)】 ・集落で、1つ特産物を作る。【P17⇒21(2)】 ・荒廃地に牛・兎・山羊・鳥等を放し飼いし繁殖して販売。【P17⇒21(4)】 ・耕作放棄地の共同草刈り。【P17⇒23(1)】
⑭ 道路・水路の清掃等の共同活動対策
⑮ 都市間交流、グリーンツーリズムの活性化
・キャンプ場、ヤマメ養殖、釣り堀。【P17⇒21(3)】

主に市行政と一緒に行う活動

具体的活動内容(取組)
① 合併浄化槽の整備
② 高齢者と障害者の交通手段の確保
③ 福祉施設、交流施設、デイサービス施設の活用
④ 父子、母子家庭への支援
⑤ 空き地の管理
⑥ リサイクル運動の実施
⑦ 郷土の歴史の調査、研究及び結果発表
⑧ 働く場所の確保
⑨ 人口減少の対策
⑩ 工場誘致などの雇用対策
⑪ 農業後継者不足対策
⑫ 農業雇用対策
⑬ 新規就農者受け入れ対策
⑭ 広域的な鳥獣被害対策
⑮ 空き家の対策
⑯ 交通体系の整備
・通院や買い物の交通の利便性確保。【P18⇒52】
⑰ コミュニティバスの充実
⑱ インターネット、携帯電話などの通信網の整備

第5章 まちづくりの推進・・・計画実現に向けて

- ◎ まちづくりは、地域住民一人一人の意識づくりが基本になってきます。その意識づくりのためにも、今木屋地区で取り組んでいること、やろうとしていることについてまず知ってもらうことが大切になってきます。そのためには、様々な情報ツールを生かした情報発信が重要になってきます。
- ◎ 木屋地区のまちづくり計画は、策定委員会が中心となって作成しました。しかし、地域住民の皆様により身近な計画とするために、アンケートで出された回答を具体的取り組みの例として位置付けました。今後は、さらに地域全体に受け入れられるよう、単なる事例でとどまることがないように、住民への周知と理解を図りながら一つでも多く実現させていく必要があります。
- ◎ 継続的なまちづくりの活動を実践していくためには、「できることのよろこび」「やって楽しいこと」「ひとつでも前に進む」の精神が必要と思われます。
また、地域間、世代間の「和」と「輪」を広げていくことが望まれます。
- ◎ 協議会がまちづくり計画に沿った活動を展開するには、組織の充実が必要で、まちづくりに取り組む仲間を増やし、地域づくりのための体制を整えることが必要です。
また、従来からの各行政区活動、公民館活動、その他各種団体の活動との調整、調和が必要です。

地域づくりに終わりはありません。

木屋地区に暮らす一人一人を大切にしながら、

スローガン「ささえあい みんなできずこう かがやく郷 木屋」の

実現に向けて、ともに頑張りましょう。

添付資料

1 木屋地区地域振興計画書策定経過

- 第1回 策定委員会 (振興計画作成の見通しについて) R4. 10. 20
- 第2回 策定委員会 (木屋地区の弱みと強みについて) R4. 11. 11
- 第3回 策定委員会 (アンケートについて) R4. 12. 16
- 第4回 策定委員会 (アンケート結果について) R5. 02. 03
- 第5回 策定委員会 (ダイジェスト版について) R5. 05. 26
- 第6回 策定委員会 (振興計画素案について) R5. 08. 28
- 第7回 策定委員会 (振興計画修正案について) R5. 10. 20
- 第8回 策定委員会 (振興計画最終確認について) R5. 12. 08

2 アンケート調査集計結果概要

『実施方法、回収概要等』

① 配布方法

- ◇ アンケートの配布は、各行政区長(隣組長)を通じて木屋地区の行政区加入の全世帯に 配布 (5 人分記入可能) しました。
- ◇ Web アンケート実施

② 対象者

- ◇ 中学生以上

③ 回収方法および集計

- ◇ アンケートの回収は、隣組単位でまとめて1月30日を期限として、行政区長に提出していただき回収しました。集計に当たっては、策定委員さん方による Web 入力を行っていただきました。

④ 提出数、提出率

- ◇ 木屋全地区

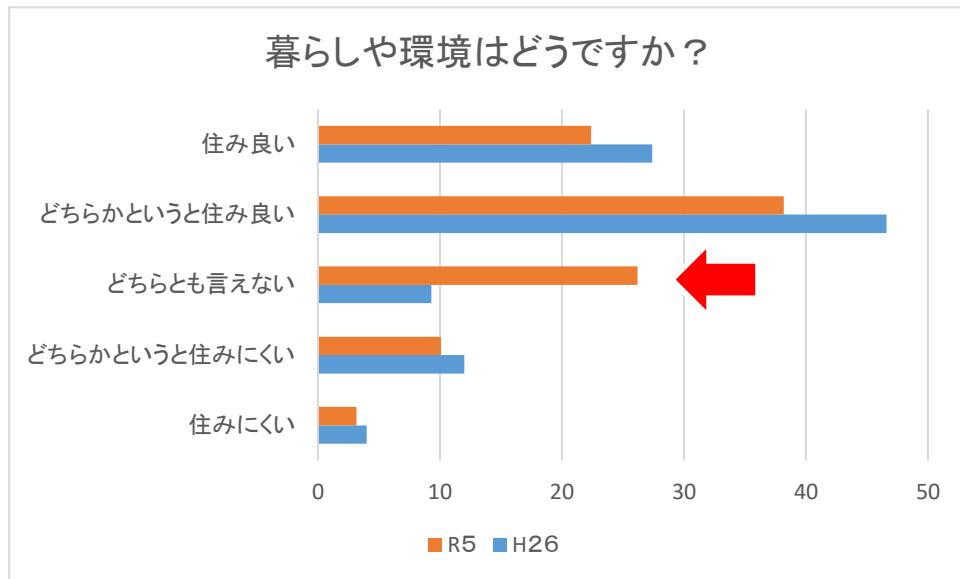
	全体			
	世帯数	人口	提出数	提出率
H15	684	2,922		
H26	813	2,387	1,000	41.9%
R04	729	1,686	634	37.6%

※提出率は、提出数÷人口

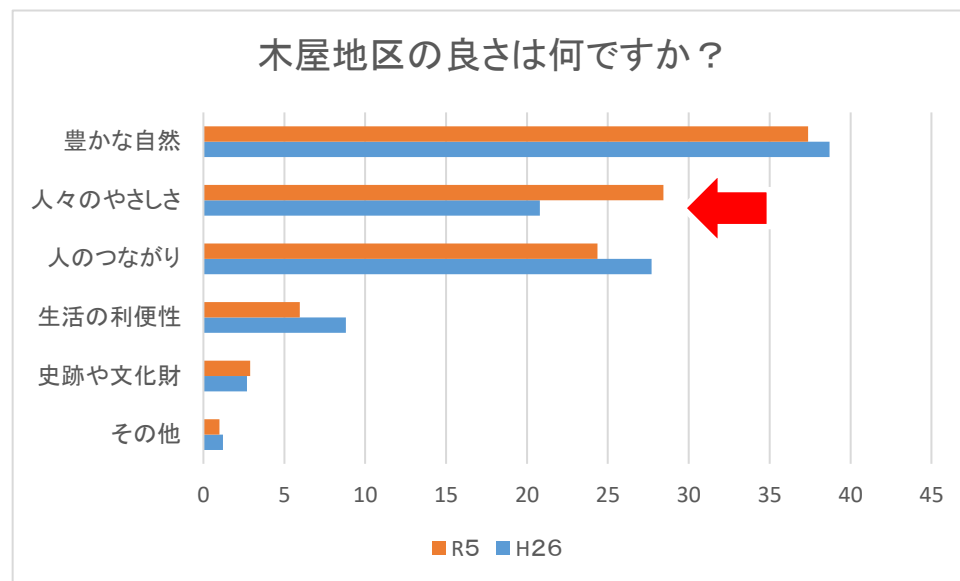
「かがやく郷 木屋」の未来設計図アンケート集計結果

～10年前との比較～

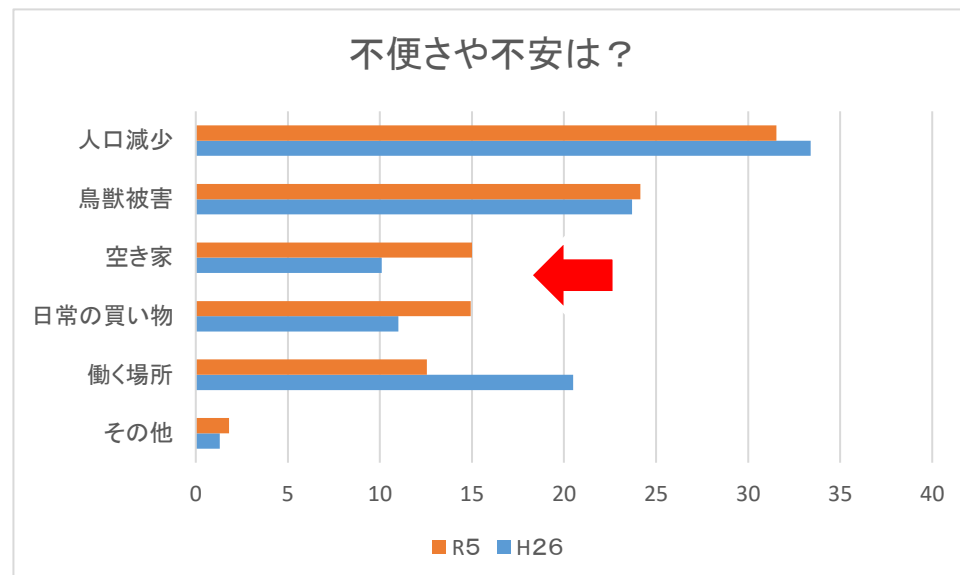
1



2

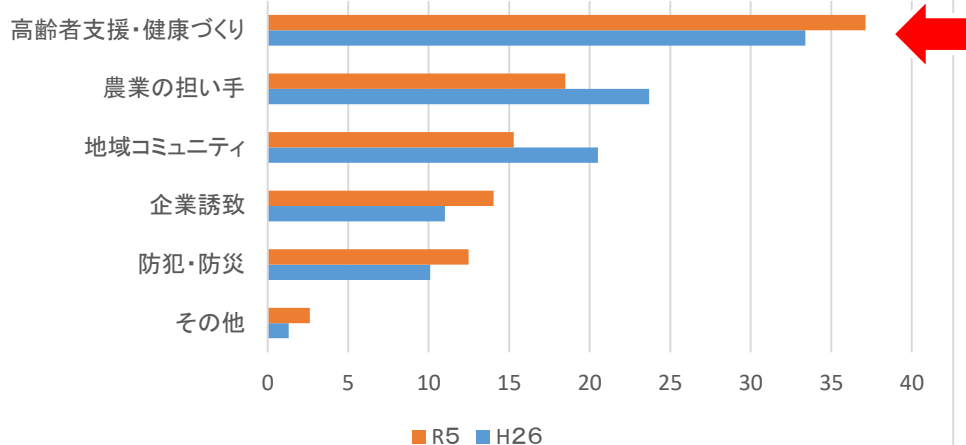


3



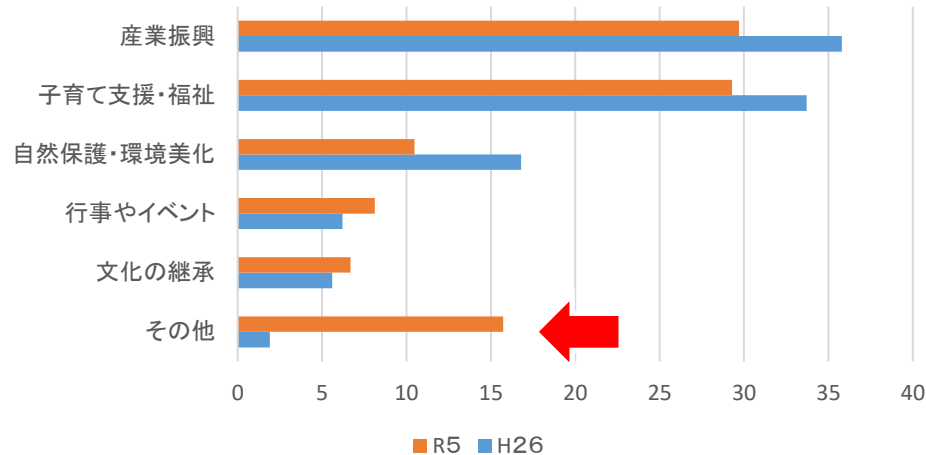
4

生活を維持する上での課題は？



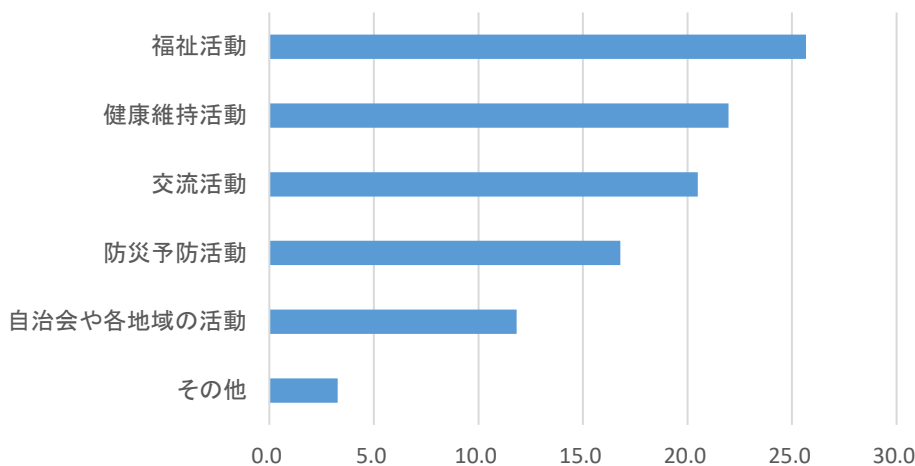
5

住み良い木屋地区にするために必要なものは？



6

木屋地区自治運営協議会に期待するものは？



木屋地区を元気にするためのアイデア

1	趣味・これががんばってます！	農業はしていないのですが、 自分でできる家庭菜園 に取り組んでいます。今年は、白菜、大根、キャベツをつくり、たくあん漬け、白菜漬けをして楽しんでいます。友だちにもおすそ分けしてすごく喜ばれ、又いろんなものをつくりたいと思っています。
2		コンニャク作り が楽しい
3		趣味・健康サークルに参加して、 いろんな方と広く浅いおつき合い が楽しい。
4		一輪車のタイヤがパンクして放置していたのを、タイヤをとりはずし新しいタイヤを取り替えてくれた。 台風の前日、何か手伝うことはありませんかと 声をかけて くださった。その時は、一応片付けが終わっていた。声をかけてくださって嬉しかった。
5		月に2回ストレッチに通っています。調子が良くなります。同じ地区でも全然話した事がない方もいるから、 交流する場所をつくった らいいと思う
6		岳弓掛地区で 養蜂に取り組んであるのが、地域の活性化 に大きくつながっていると感じる。私が住む地域にも何かないかと思う。
7		北木屋地区では、 花いっぱい運動 を実施中。今年は下小屋地区、来年は中木屋を追加予定。北木屋を花いっぱいにしていきたい。
8		お宮などの 行事の継承
9	人財を活かそう！	人が活かされること その人が持っている得意なことやできること 例えば 大工仕事や左官職人 電気とか 英会話 竹細工 動物対策 水回り 手品 楽器の演奏 漬物漬け などなど 人材一覧などを作って 困った時とか 助け合う
10		開催するのは大変ですけど、最近流行りの マルシェ みたいな事もありかなあと思います。 地域地域にそれぞれいろんな事が出来る方がいらっしやると思います。 でもそれは時間を要する為、仕事との掛け持ちはかなり難しいかもしれません。定年後あるいは仕事以外の趣味として何かしら持ってある方とかいらっしやるんじゃないかなって!でもハードルは高いかもしれません。 お世話するのも大変ですけど!グリーンピアで開催するとかですね、難しいですかね。ネット販売もありですけど、難しいかなあ。 系島のマルシェ行ったり筑後のマルシェ行ったり自分自身も勉強中です
11		協議会メンバーに、地域から出る役員以外のやる気のある人達の参入や、 若い世代の考え方を待ち込めるシステム を取り入れてはどうでしょうか。
12		元気な高齢者の方も多数おられ、 サロン 等実施されているようですが、山間部ではまだ充実していないのではないのでしょうか?月1程度でも良いので、健康増進の為に体操や脳トレ活動等、山間部でも実施してみてもはどうでしょうか?
13		○いろいろな 趣味や特技がある方 が多いと思うので、その方々に活躍していただき地域を盛り上げたらいいのではないかと思います。 ○ 女性にどんどん活躍 していただく地域にしたい。(女性の方が活動的で元気)
14		グリーンピアへ登っていく道路に沿って続く石垣や、黒木中バス停付近の 石垣がキャンパス になったら面白いかも。黒木中にも美術部があるだろうから、ちょっとした発表の場(バス停付近だけでも)にならないだろうか。また、いつも止まっている時計(バス停上)が気になっている。

15		ストリートアート
16		ゴルフやソフトボール等 皆んなで出来る活動 を増やす
17	こ	木屋小跡地の活用
18	ん	木屋のシンボルツリーを制定し各家に植えてはどうか。10年後にはどの家にも同じ
19	ん	木や花が咲いている
20	や	耕作放棄地を家庭菜園に貸し出したら
20	っ	木屋地区は、広域なので他の地域の 史跡や文化財 はほとんどわからない。年に一度
(1)	た	でいいので、木屋地区を例えば元の校区ごとに区切り、歩いたり車の移動で見たり、
20	ら	話を聞いたりできないのでしょうか。(数年間で木屋地区全部を回る。)
(2)	ど	高齢化で 田畑を耕作できない分、レンゲ畑にして 、蜂蜜を採集するなど生かせない
21	う	でしょうか。(すでに実施されているのであればすみません。)
(1)		集落法人 、共同による 育苗、田植え、消毒、収穫、農機械の共有化。
21		集落で、1つ特産物 を作る……
(2)		キャンプ場、ヤマメ養殖、釣り堀。
21		荒廃地に 牛、兎、山羊、鳥を放し飼いし繁殖して販売。
(4)		生産面に力を入れると自然と交流活動が良くなってくると思う。
22		○ 地域関係ないグループでのグラウンドゴルフ大会 を開催したい。
(1)		○ マルシェを併設したじゅうばこ祭り にしたい。
22		○ 地域の方からのアイデアを生かした催し物 を企画運営して成功させたい。
(2)		
22		
(3)		
23		1. 耕作放棄地の共同草刈り
(1)		
23	交	2. 気軽に集うコミュニティ
(2)	流	
24	の	地区の交流の場 がもっとあったら良いと思う。
25	場	誰もが気軽に お茶したりちょっとした時間を過ごせる寄り所 があればいいなと思う
26	・	今ちよつとアイデア浮かんでできませんが、とにかくそれぞれの地域はもちろん木屋地
27	住	区が笑って1日すごせるような、そんな 交流の場 があってほしいです
28	み	学校を初め、様々な公共施設が無くなり、とても寂しい状況ですが、その不便さよりも
29	良	地域の繋がり(コミュニティ)を有り難く思える地域作り が必要だと思います。
30	い	子供といっしょに遊ぶ 公園 を充実させてほしい。
31	環	コロナの中で触れ合いが少なくなつて。隣同士もなにか縁とうなくなつてる感じがします。あ
32	境	る程度事は強制的に実行したら良いと思いますけど？
33	づ	残された人が住みやすい地域作り
34	く	ゆたかな生活
35	り	みんなで集まれる カフェ的な場所
36		自然の空気に触れることが、したいときにすぐ身近でできるのはとても気持ちいいで
37		す。せっかくある 自然や伝統 などをもう少し丁寧に整えたり、関われる場所を増やしたり、
38		伸ばしていけばいいのになと思います。

34	交流の場・住み良い環境づくり	子供が遊べるような、 遊具がある公園 コストコ!!!!!!バイパス!!!!!!
35		高齢者の施設 が立つと嬉しい
36		若者専用の住宅作り 木屋地区に若者が結婚しても住めるような環境作り
37		例えば大淵の「げんき館」のような 地域コミュニティセンター があればよい。そこでよく映画をみたものだった。多くの人がみにこられていた。喫茶や野菜販売(ファーマーズマーケット)など(月1回とか)展開したらいいのでは。木屋改善センターは活用できないか。
38		里山生活を楽しめるような設備、装置 が欲しい。猪や鹿、野鳥、昆虫との共存を目指した研究所等があって良いのでは。
39	SNS活用	現代は、 SNSで簡単に情報発信 出来る世の中、これで木屋地区のみならず多岐に渡り繋がれたらな、と思います。
40		ホームページ上での 木屋地区のいいところ自慢
41		木屋の事を木屋の人だけで考えてるといきづまるんじゃないやろか?久留米や福岡の人達にも参加してもらって 気づかない木屋の良さを発掘してもらう のもどう?
42	直売所等の設置	木屋地区のみの作物、加工品を作り 全地区で栽培して販売体系までできたらどうでしょうか。
43		道の駅 みたいな常に集客できる 箱物 がなんとかしてつukれないか
44		道の駅 の建設は出来ないでしょうか。国道があるので土日は車も多い、地域の方々から農作物を販売出来るし生活用品も購入できろから
45		木屋地区に 直売所 をつukれないか
46		グリーンピア八女には四季折々の花などがありますが、日帰りに見て帰られるだけです。 麓の方にバリアフリーの物産館 などがあれば、年齢問わず農産物や加工品などを求めにこられるのではと思います。
47		定年を機にバイクの免許を取り、桜や紅葉を見に行ってます。ツーリング人口が増えていることもあり、 地域のよさを生かしたカフェとか直売所、宿泊施設 とかどうでしょう
48 (1)		近い将来行われるであろう行政区合併を見据え、 行政区を超えた自治活動 を行い、交流を図っていく。
48 (1)		国道、市道沿いの 農産物直売所 の設置等
49	何とかして!	夜になると暗いです。道を歩いたりするには懐中電灯が必要です。 もうちょっと 電灯 があるといいなあとと思います。
50 (1)		空き家放置 をなんとかしてほしい。
50 (2)		時代にそぐわない 伝統行事の簡素化 。
50 (3)		公園 があつたらいい。
51 (1)		農業がどんな山間部でも出来る用にインフラ整備を進めて欲しい。
51 (2)		鳥獣保護を考え直して欲しい。
52		交通の利便性。通院。買い物 他
53		車での移動販売 を続けてほしい。

54		働く場所が増えたらいい。
55		若い人が地元で働けるよう多種多様な職業があればいいなと思う。
56		若年層を地元引き留めておける優良企業の誘致
57	職場を増やそう！	若者が住みたくなるような大手企業等の職場、商業施設が近くにある地域になったら良いと思います。 お金目当てで人は簡単に動くので、過疎地域に若者が住む事での国から金銭的支援があると即若者が増えると思います。(5年は定住する規約等をつけて)更にそういった支援がある事を大々的にPRすれば、遠い所から移住してこられる事も考えられる。 大手企業、商業施設が複数建設されたら一気に活気のある町になる。 安い土地をPRし企業、施設を建てる。ある企業に、「今この企業もこの企業も黒木町に建設が決定している」と伝えれば波に乗ってくるはず。 (建設したい企業、商業施設全てに「こことこことこの企業が建設を予定したら貴方の会社も建設を考えて下さい」等伝えればOKを頂けて、建設予定している企業として他の企業に紹介出来る連鎖が生まれる)
58		・地域の高齢化に伴い、若い世代にかかる。 ・消防団も負担が大きいので、逆に大変で帰ってこない人もいる。→消防職員が増えたほうがいい。
59		人が出ていかないようにすることが大事だと思います。
60		除草剤、農薬の使用をやめて、有機栽培のみにする。農家や田舎の暮らしに興味のある若者を呼び、里山の維持方法を一緒に考える。
61	人流出防止	具体的内容方法はないのですが、若い人が定住することですね。高齢者ばかりの地域で、イベントをしても若い人はそっぽを向くでしょう。
62		山に残った45十代の人材に強制的に何かをさせるようなことはかえって住みにくくしていると思えない。なぜ若者が町に移住していくのかよく考える必要があると思います。
63		中間層の働き盛りの支援
64		昔ながらの地域出ごとやイベントを無くす。 子育てしやすい環境
65		重箱まつりなどの地域の行事を減らしてほしい。まずは家族の時間を大事に出来るように。
66	人誘致	移住者が来てくれたりしてくれるといいですね。
67		県外からや外国人の誘致
68	まずは足下から	十年前から今日まで何ら効果的対策もせず、過疎化を見放してきたのに、今後の十年間で何が出来るか……。できることと言えば、 住民の意識改革 しかないと思う。自らの価値観を確認し、日常生活を充実させ楽しむことが大事。親が田舎暮らしを楽しんでいれば、子・孫も田舎の良さを理解するはず。
69	その他	日々の生活が1番！働く場所がない、それに山間部は農業が主であり、農作物の単価が良くなければ木屋地区に限らず町は元気にはなれない。ワクワク過ごすなんて到底考えられないですね。